

【資料を読み取る力】

問い一

正答 洋風・・・①

誤答 正答以外

無答 一切の記入のないもの。

問い二

正答 『きらい』と答えた人の数に〇・・・②

誤答 正答以外

無答 一切の記入のないもの。

問い三

正答 (地域) 生産・(地域) 消費・・・③

誤答 正答以外

無答 一切の記入のないもの。

問い四

【制限時間内に指定された文字数で記述する力】

指定された範囲内で意見文を書いている。

正答 三五九字をこえて、四〇〇字以内で書いている。・・・④

※ 敬体と常態が混在していても許容する。

誤答 三五九字以下、四〇一字以上。

無答 全く書けていない。

【注意】 三五九字をこえていない場合は、⑤以降の問題は、「無答」とすること。四〇一字以上の場合は、「誤答」の場合は、⑤以降の問題も採点の対象とすること。

【段落を構成する力】

「始め」・「中」・「終わり」の構成で、四段落で書いている。

正答 「意見の表明」「資料をもとにした考えの説明」「結論・意見の表明」といった三部構成で、四段落で書かれていれば正答とする。「資料をもとにした考えの説明」は、資料の中から必要な資料を二つ選ぶので、二段落となる。・・・⑤

誤答 三部構成になっていない。

改行されていても一文字下げができていない。

構成を意識せずに記述している。

改行が多すぎるものも誤答とする。

無答 段落が全くない。

【根拠を生かして記述する力】

資料をもとに、自分の体験、知識のいずれかを入れて、考えなどを詳しく説明している。

正答

選んだ資料と考えに整合性があり、自分の体験や知識を入れて説明している。・・・⑥

【例】

資料エ・・・母といっしょに買い物に行ったとき、低農薬で作られている地元の野菜を買いました。作った人が分かる野菜は安心だと思います。

資料エ・・・わたしの家では野菜を作っています。とれたてのニンジンやダイコンは新せんでとてもおいしいです。父は「しゅんの野菜は健康にもいいよ。」と言っていました。

資料オ・・・三年生の社会科の学習でスーパーマーケットに見学に行きました。その時、資料オのような表示を見つけました。作った人が分かると安心して買い物ができます。

資料カ・・・五年生の社会科の学習で食料生産について学習しました。その中で、農薬をできるだけ使わない低農薬での作り方が紹介されていました。低農薬で作られた米や野菜は、健康によいので安心して食べることができると思います。

誤答

※ 資料キ、ク、ケ、コを選んで、自分の体験と結びつけて記述してあれば正答とします。選んだ資料と考えに整合性がない。

【例】

資料オ・・・ぼくは、トマトがすきだから、甘いトマトを給食に使うことがよいと思います。資料カ・・・わたしは、パンよりもご飯の方がすきです。ご飯の方が体によさそうだからです。

無答

知識、体験の記述がない。資料からの引用だけでは無答とする。

【効果的に記述する力】

資料から数値を読み取り、その数値に自分の考えや意見を加えて書いている。

正答

資料から数値を正しく読み取り、自分の考えや意見を加えている。・・・⑦

【例】

資料キ・・・資料キを見てください。トマトにふくまれるビタミンCの量を夏と冬で比べると、夏の方が冬の二倍の量です。しゅんだと栄養がたくさんあることが分かります。同じものを食べるならしゅんのもを食べた方が栄養が多いので、体によいと思います。

資料ク・・・アメリカからブロッコリーを運ぶと、五十一グラムも二酸化炭素が発生しますが、新潟市から長岡市まで運ぶと三グラムしか発生しません。四十八グラムも少ないのは、かん境にとってもいいと思います。

資料ケ・・・日本の食料自給率は約四十パーセントです。この数字は少ないと思います。元の野菜を使えば、食料自給率が上がることに繋がると思います。

資料コ・・・資料コを見てください。一週間あたりの米飯給食の回数は、年々増えて週四回をこえました。地産地消が広がって、回数が増えているのだと思います。

波線.....のように、数値に対して自分の考えや意見が書いているとよい。

誤答

数値を列挙しただけの場合。数値の読み取りが誤っている場合。

無答

数値の記述がない。

【解答例】

使った資料・・・エ、ク

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑳

① わたしは、地産地消メニューがよいと思います。このメニューには、二つのよさがあります。

② 一つ目のよさは、栄養がそなわれないということとです。地域で生産された食べ物を使うと栄養がそなわれず、新せんなまま食べることができません。わたしは、家で採れたばかりの野菜を使ってサラダを作ったことがあります。母は栄養満点だと言っていました。

③ わたしはその通りだと思いました。

④ 二つ目のよさは、かん境にやさしいことです。例えば、アメリカからブロッコリーを輸入した場合、五十一グラムの二酸化炭素が発生します。地いきで生産されたブロッコリーを使えば、二酸化炭素の量は少なくてすみません。温暖化の原因といわれる二酸化炭素の発生が少ないので、かん境にやさしいといえます。

⑤ このように、栄養もあつて、かん境にもやさしい地産地消メニューがよいと思います。

使った資料・・・オ、ケ

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑳

① ぼくは、地産地消メニューがよいと思います。このメニューのよさは二つあります。

② 一つ目のよさは、作った人の顔が見えて安心だということです。三年生の社会科でスーパーマーケットの見学に行きました。そこで資料オのような表示を見つけました。お店の人はお客さんが安心して買物ができるように、作った人が分かるようにしていました。ぼくも作った人が分かった方が安心だと思います。

③ 二つ目のよさは、地産地消は食料自給率の向上につながると考えられていることです。日本の食料自給率は四〇パーセントです。この数はとても少ないと思います。食料の輸入先が不作になった場合、食料を売ってもらえなくなるかもしれません。地産地消が広がると食料自給率が向上すると思います。

④ このように、安心して食べられて、食料自給率の向上にも役立つ地産地消メニューがよいと思います。